

西郷村立小田倉小学校

教科名等：学級活動
単元(題材)名：「大人になったら・・・」
学年：第6学年

実施状況

＜ねらい＞

職業を考えるとき、ジェンダーにとらわれた職業観で選ぶのではなく、自分らしさが發揮できる仕事に就くことが大切であることに気づくことができる。

＜主な学習活動・内容＞

導入 ・職種を男女別に分け、本時の課題をつかむ。

展開 ・ワークシート中のいくつかの職業を取り上げ、だれが行う仕事だと思ったのか、また、その理由について話し合い、ジェンダーにとらわれていることに気づかせる。

・資料をもとに、先輩が自分らしい職業に就いて活躍していることを知る。

終末 ・今日の学習をふり返り、ワークシートにまとめる。



児童の感想

- 私は、電車の運転手や車掌さん、海上保安官などは、力強い男の人がやっていると思っていたけど、資料を見て、「へえ～女人の人でもなれるんだなあ」とびっくりしました。職業は男女関係なくできることが分かりました。
- 資料を見て、イメージで男の人がやるとか女人の人がやるとか思ってはいけないと思いました。本当にやりたいと思ったことは、性別は関係ないんだ、本人が関心、意欲を持てばいつか夢がかなうんだと初めて知りました。
- 女人の車掌さんや海上保安官など、自分のイメージでは男の人がするものだと思っていたけど、自分のイメージと逆の人もいるのだから、私も将来自分に合った仕事をしたいです。

参観者の感想

- 今回の授業参観は、子ども達が将来の職業を考える上で、選択肢が広がる内容だったと思います。今はまだ先のことは、ピンと来ないかもしれません、自分が将来どんな職業に就きたいか、じっくり考えて選択してほしいと思います。
- 家で、「将来の夢は何?」という会話はしていても、具体的に職業を選ぶ時の話はしていなかったので、今回、学校でこのような授業があったのは、とてもよかったです。
- 今の時代は、性別に関係なく職業に就けるんだ、と改めて感じました。海上保安庁に女性がいらっしゃるとは、正直驚きました。我が子が大人になり、仕事をする頃には、今よりもっと男女の垣根が取り払われているのだろうと思いますし、我が子も自分の選ぶ職業に向かって邁進してほしいと思いました。

指導者の感想

- 授業をすることによって、子ども達は、職業に男女の差ではなく、自分の就きたい職業を選べばよいという考えをもつことができた。
- 子ども達が、将来に向け、職業を選ぶ際の一つの判断材料となった。